

2016.6.1-11.30

株主メモ

事業年度 6月1日～翌年5月31日
定時株主総会 8月
基準日 5月31日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

公告の方法 電子公告の方法によります。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <http://www.pharmarise.com/>
証券コード 2796(東証一部)

株主優待のご案内

株主様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、長期的に当社株式を保有していただくこと、並びに当社グループの事業に対するご理解をより深めていただくことを目的として、株主優待を行っています。

●平成28年11月末基準(平成29年5月期)株主優待品●

対象株主 平成28年11月30日時点で当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様

優待の内容 ①メディカルアロマピンズセット
②医療用サプリメント C-Max
③薬用ハミガキ粉 デンタルポリス 2本
の中からおひとつを選択いただけます。

贈呈時期 平成29年3月下旬～5月下旬頃



ファーマライズホールディングス株式会社

株主通信 平成29年5月期
第2四半期

To Our Shareholders

薬局が担う新たな機能への挑戦

Top Interview

選ばれる薬局 一かかりつけ薬局・薬剤師の推進一

グループ店舗数の状況

Topics

四半期連結財務諸表

会社概要

株主メモ・株主優待のご案内



ファーマライズホールディングス株式会社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル
TEL 03-3362-7130 FAX 03-3362-7190

<http://www.pharmarise.com/>

証券コード 2796



To Our Shareholders

株主の皆様へ

薬局が担う新たな機能への挑戦

ファーマライズグループは、昭和59年の創業以来30年を超え、「パーフェクト」を社是に今日まで成長を続けてまいりました。

創業当初から今日に至るまでの間、調剤薬局をとりまく環境としては、医薬分業率が年々向上し平成27年度には70.0%に達しております。

こうした中、患者の流動化もあり、面対応店舗の開発・展開は今後とも当社にとって重要な経営目標となっております。加えて、周辺業種からの参入等により競争が激化していることもあり、処方せん調剤業務だけに特化せず、利用者誰でもが入りやすい店舗の開発が課題となっております。このために平成27年7月に策定した「中期経営計画」においてもテーマに掲げた、当社グループ独自の呼称である「セルフメディケーション・サポート店舗」及び面分業店舗の展開を着実に推進しております。

平成27年9月にはセルフメディケーションを旨とした「健康サポート薬局」構想が発表されました。加えて同構想におきましては薬局が地域の健康情報拠点となることを期待されているものと考えております。そして平成28年4月には「かかりつけ薬剤師・薬局」を骨子とし、調剤業務における技術料の算定を大幅に変更した制度改正が実施されました。現在、当社グループでも、ここで打ち出された新しい薬局機能である、「かかりつけ薬剤師・薬局」の推進に向けた施策を打ち出し、薬局機能の“対物業務”から“対人業務”への転換を図っているところです。また当社グループは従来から薬事に関する専門性に加え、コミュニケーション能力の向上が不可欠という基本スタンス

代表取締役会長
大野 利美知



を貫いており、今回の制度改正は、当社グループがどのように今後の地域医療を支えていけるか、を提案する大きなチャンスと捉えております。

平成27年10月に、コンビニエンスストアの持つ利便性と調剤薬局、ドラッグストアの持つ専門性を兼ね備えた新たな業態の開発、並びに物販事業の強化を目的として、薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社をグループに迎え入れました。利用者には、セルフメディケーション・サポート及び健康支援ニーズ関連商品を販売するとともに、健康支援のためのイベント開催などを通じてセルフメディケーション・健康支援サービスも提供しております。

同社を中心とした物販事業については緒に就いたばかりであり、事業基盤の拡大や収益の改善等、課題は残るものの、今後、得られたノウハウを既存の調剤薬局事業の展開に活かしていくとともに、当社グループの中核事業の一つとして育ててまいります。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご高配を賜りますよう心からお願い申し上げます。

Top Interview

トップインタビュー

選ばれる薬局

——かかりつけ薬局・薬剤師の推進——

Q. 当四半期(平成28年6月1日～平成28年11月30日)の業績について教えてください。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高が252億36百万円(前年同期比18.1%増)、営業利益1億71百万円(同65.8%減)、経常利益1億22百万円(同70.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億11百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益5億88百万円)となりました。

売上高の増加は、前連結会計年度以降に開局等をした店舗及び新たに当社グループに加わった株式会社ドゥリーム、薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社、株式会社フォーユー及び有限会社ファコムが寄与したことによるものです。

利益面では、調剤薬局事業において平成28年4月の調剤報酬改定と薬価改定の影響及び新卒採用、研修等の本部費用の増加を主な要因としてセグメント利益で減益となりました。また物販事業についても引き続き採算改善の途上にあることから減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期に薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の連結子会社化に伴う負ののれん発生益を計上したことにより、前年同期比で減益となりました。

Q. 通期(平成28年6月1日～平成29年5月31日)の業績予想について教えてください。

売上高につきましては、調剤薬局事業において前年度に承認された大型新薬の売上減少を想定する半面、物販事業で薬

代表取締役執行役員社長
岩崎 哲雄



ヒグチ&ファーマライズ株式会社の売上が通年寄与することで増収を見込みます。また利益面では、かかりつけ薬局・薬剤師の推進等による調剤技術料の増加を計画する一方で、物販事業では増収基調にありますが事業拡大に伴う費用の増加が続きます。

以上により、通期連結業績は売上高515億円(前期比6.2%増)、営業利益5億9千万円(同27.4%減)、経常利益4億4千万円(同33.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1億1千万円(同71.2%減)を予想しております。

Q. 下期に注力することについて教えてください。

当社グループでは、“患者に選ばれる”会社を目指すという方針から、引き続き、かかりつけ薬剤師・薬局化及びセルフメディケーション・サポートの推進を着実に実施してまいります。

また従来から子会社や店舗の再編を進めていますが、収益性が悪化している店舗への対応も強化し、より経営・資本効率を高め“投資家に選ばれる”会社を目指してまいります。

グループ店舗数※の状況

※連結子会社、持分法適用会社の店舗数合計

■グループ体系(平成28年11月末現在)

連結子会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
ファーマライズ株式会社 ^(株式会社レイケアセンターを含む)	74	—
東海ファーマライズ株式会社	44	—
株式会社双葉	8	—
北海道ファーマライズ株式会社 ^(株式会社川口薬局を含む)	48	1
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	8	—
新世薬品株式会社	16	—
株式会社寿データバンク	—	—
ファーマライズプラス株式会社	12	—
株式会社鬼怒川調剤センター	1	—
株式会社エシックス	15	—
株式会社ドゥリーム	5	—
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	11	60
株式会社フォーユー・有限会社ファコム	5	—
持分法適用会社	調剤店舗数	非調剤店舗数
有限会社エム・シー ^(所有割合34.0%)	7	1
株式会社メディカルフロント ^(所有割合42.1%)	—	—
株式会社ヘルシーワーク ^(所有割合35.0%)	27	—
合 計	343店舗	62

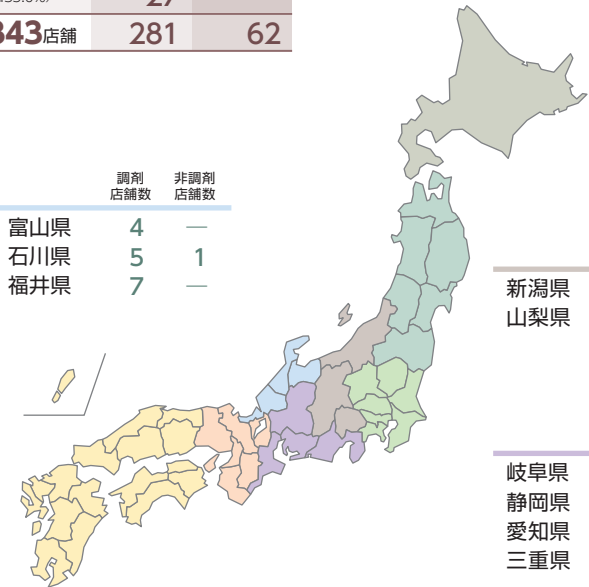
	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
滋賀県	3	—
京都府	8	4
大阪府	43	21
兵庫県	17	1
奈良県	2	—
和歌山県	3	1

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
香川県	—	2
佐賀県	—	1
宮崎県	1	—
沖縄県	5	—

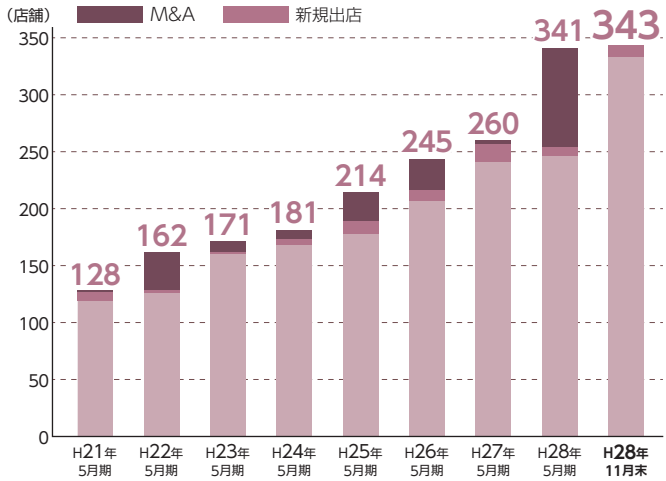
	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
富山県	4	—
石川県	5	1
福井県	7	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
新潟県	15	—
山梨県	1	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
岐阜県	2	—
静岡県	14	—
愛知県	13	—
三重県	9	—



■グループ店舗数の推移



■都道府県別出店状況(平成28年11月末現在)

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
北海道	46	1
宮城県	10	1
秋田県	2	—
山形県	1	—
福島県	11	—

	調剤 店舗数	非調剤 店舗数
茨城県	4	1
栃木県	1	—
群馬県	8	—
埼玉県	5	—
千葉県	2	2
東京都	33	21
神奈川県	6	5

TOPICS —トピックス—

地域の医薬品、健康情報の発信拠点として

ファーマライズグループでは、「セルフメディケーション」や「健康サポート」を推進し、地域の健康情報拠点となることを目指して、店舗や地域主催のイベント会場等において、お薬相談会、骨密度測定、体組成・体のゆがみ測定や検体測定、介護食品の試食会、子供薬剤師体験会といった、様々なイベント、取り組みを、全国で開催しております。



脳年齢、肺年齢測定



こども薬剤師体験



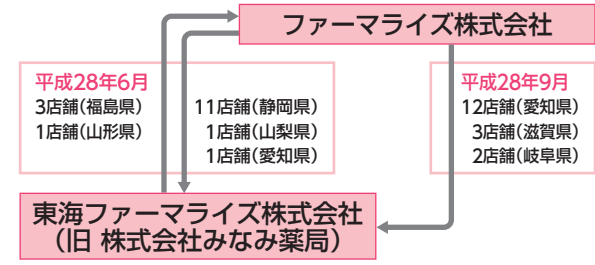
地域イベント(老後相談会)への参加



介護食の試食会

組織再編

経営効率の向上を図るため、平成28年6月と平成28年9月に下記の通り連結子会社店舗の再編を行いました。



開局・出店7店舗(連結ベース)

平成29年5月期上半期(平成28年6月1日～11月30日)は、**調剤薬局4店舗**、**ドラッグストア3店舗**を開局・出店いたしました。

調剤薬局店舗	ドラッグストア店舗
6月 三光町店(北海道)	6月 幡ヶ谷店(東京都)
7月 春日部店(埼玉県)	8月 谷町二丁目店(大阪府)
9月 住吉駅前店(兵庫県)	9月 中野新橋駅前店(東京都)
10月 江口店(沖縄県)	

四半期連結財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期末 (平成28年11月30日現在)	前期末 (平成28年5月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,084	9,071
固定資産	16,098	16,580
有形固定資産	6,977	6,915
無形固定資産	6,062	6,419
投資その他の資産	3,058	3,244
繰延資産	11	14
資産合計	24,194	25,667
負債の部		
流動負債	9,497	10,736
固定負債	8,732	8,693
負債合計	18,230	19,430
純資産の部		
株主資本	5,223	5,445
資本金	1,174	1,166
資本剰余金	1,160	1,152
利益剰余金	2,888	3,126
その他の包括利益累計額	△18	△21
新株予約権	112	97
非支配株主持分	647	715
純資産合計	5,964	6,237
負債及び純資産合計	24,194	25,667

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 (平成28年6月1日から 平成28年11月30日まで)	前第2四半期累計 (平成27年6月1日から 平成27年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△387	222
現金及び現金同等物の増加額	△167	642
現金及び現金同等物の期首残高	3,319	3,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,152	4,516

■ 四半期連結損益計算書(要約)		
(単位:百万円)		
科 目	当第2四半期累計 (平成28年6月1日から 平成28年11月30日まで)	前第2四半期累計 (平成27年6月1日から 平成27年11月30日まで)
売上高	25,236	21,363
売上原価	21,802	18,016
売上総利益	3,434	3,346
販売費及び一般管理費	3,263	2,847
営業利益	171	499
営業外収益	121	57
営業外費用	169	134
経常利益	122	422
特別利益	2	604
特別損失	31	144
税金等調整前四半期純利益	93	882
法人税等	271	299
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△178	583
非支配株主に帰属する 四半期純損失	66	5
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△111	588

ー 四半期連結貸借対照表		
●売上債権が流動化の手法による資金化量の増大、のれんが償却が進んだことから、それぞれ減少したことを主な要因に、資産は14億72百万円減少しました。また、買掛金の減少を主な要因として、負債合計は11億99百万円減少しました。		
●純資産額は、親会社株主に帰属する四半期純損失1億11百万円の計上及び、当社の配当金の支払額1億26百万円により利益剰余金の残高が2億37百万円減少したことを主な要因として、2億72百万円減少しました。		
ー 四半期連結損益計算書		
●売上高は、前連結会計年度以降に開局等をした店舗並びに前連結会計年度に新たに当社グループに加わった子会社が増収に寄与いたしました。		
●平成28年4月の調剤報酬改定と薬価改定の影響及び物販事業が引き続き採算改善の途上にあること、並びに本部費用の増加を主な要因として、営業利益は減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期に負ののれん発生益5億90百万円を計上したことを主な要因として、前年同期比で減益となりました。		
ー 四半期連結キャッシュ・フロー計算書		
●営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が減少した一方、仕入債務が減少したことを主な要因として、前年同期比1億73百万円減少の4億77百万円となりました。		
●投資活動によるキャッシュ・フローは、新規開局店舗の出店等に伴う有形固定資産の取得による支出を主な要因として、減少した資金は256百万円となりました。		
●財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払、長期借入金の返済、社債の償還による支出等があったことを主な要因として、減少した資金は387百万円となりました。		

会社概要

■ 会社概要(平成28年11月30日現在)	
設 立	昭和59年6月
社 名	ファーマライズホールディングス株式会社
資本金	1,174,328千円
本店所在地	東京都中野区中央1-38-1
主な事業内容	持株会社(調剤薬局事業などを営むグループ会社を統括する管理運営会社)
ホームページ	http://www.pharmarise.com/
主要取引銀行	株式会社三菱東京UFJ銀行 株式会社横浜銀行 株式会社みずほ銀行 他
連結従業員数	1,717名(非常勤含む)

■ 役 員(平成28年11月30日現在)	
代表取締役会長	大 野 利美知
代表取締役社長	岩 崎 哲 雄
専務取締役	秋 山 昌 之
取締役(社外)	尾 中 哲 夫
取締役(社外)	渡 邊 則 夫
取締役(社外)	多 田 宏
常勤監査役(社外)	西 郷 理 夫
常勤監査役	小 高 芳 夫
監査役(社外)	佐 藤 勝

■ 株式の状況(平成28年11月30日現在)	
発行可能株式総数	31,398,000株
発行済株式総数	9,039,050株
株主数	9,402名

■ 大株主の状況(平成28年11月30日現在)		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大野 利美知	3,159,900	35.0
中北薬品株式会社	396,000	4.4
株式会社バイタルネット	381,300	4.2
株式会社ほくやく	381,200	4.2
ファーマライズ従業員持株会	328,700	3.6
大野 小夜子	275,740	3.1
エア・ウォーター株式会社	150,000	1.7
日医工株式会社	150,000	1.7
平松 仁	132,700	1.5
明治安田生命保険相互会社	100,000	1.1

■ 主要仕入先	
株式会社スズケン 中北薬品株式会社 アルフレッサ株式会社 株式会社ほくやく 他	

主要な連結子会社(平成28年11月30日現在)		
名 称	住 所	事業内容
ファーマライズ株式会社	東京都中野区	調剤薬局事業
東海ファーマライズ株式会社	愛知県名古屋市中区	
株式会社双葉	京都府京都市	
北海道ファーマライズ株式会社	北海道苫小牧市	
株式会社テラ・ヘルスプロモーション	大阪府大阪市	
新世薬品株式会社	兵庫県淡路市	
ファーマライズプラス株式会社	東京都中野区	
株式会社鬼怒川調剤センター	栃木県日光市	
株式会社エシックス	新潟県新潟市	
株式会社ドゥリーム	沖縄県嘉手納町	
株式会社フォーユー・有限会社ファコム	福井県福井市・坂井市	
薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社	東京都中野区	
株式会社寿データバンク	栃木県足利市	物販事業 他 医学資料保管・ 管理事業